

第二弾「続けますか？藤阪小 PTA」アンケート結果 まとめ

ご回答いただいた皆さん、ありがとうございました！

<総括>

*アンケート 9月中旬～9月末の期間で実施。PTA 会員数(279 家庭)に対し、回答数144人。第1回の87 人を上回る回答がありました。※編集の都合で9月 28 日時点の速報値を元に分析しています。

*今回は、PTA を続けるかどうかを率直に聞く踏み込んだ内容としました。「加入を考えている」は74人という結果になりましたが、PTA 非加入の影響を示した上で「分からない」と答えた人が35人いることが分かりました。

*「役員に立候補する人」こそいなかったものの、「負担が小さければ役員を引き受けてもいい」は 11 人存在し、「可能な範囲で手伝いたい」という人は38人と加入予定のうち半数以上いることが分かりました。

<今後の動きについて>

*全会員家庭に回答してもらうことは大前提の上で、「藤小校区まつりに参加する人は必ず回答！」と告知したことで、全回答のうち、「まつり参加予定」の家庭は約8割に上りました。対して、アンケート未回答は約 130家庭います。当該家庭は、PTA活動にそもそも無関心である可能性が高いことはもちろん、素直に受け止めて、「未回答」≒「まつり不参加」と考えられます。

*ここからはさらに推測ですが、藤小校区まつりが現在、PTA 活動における一大イベントとなっており、まつり不参加の未回答家庭にとって、PTA 活動はよりイメージしにくい、遠い存在と思われます。そういったことから、未回答の家庭は、回答いただいた家庭より、非加入になる可能性が高いと思われます。

*などなど、全家庭の回答なかったものの、今回の結果から、ある程度の非加入家庭が発生することを前提として、未来像を考えていく必要があります。

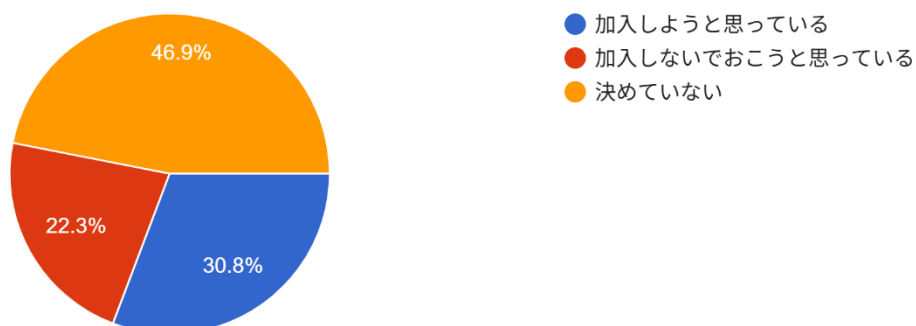
ということで、現在より、会員数が縮小することを前提に、役員の選出方法、活動の見直しができる体制を考慮した組織づくりを行っていきます。

第1弾のアンケート結果から出した結論である「会員数の確保と役員担い手の確保を目指していくには、『PTA 活動をより意義のあるものにしていく』『負担を軽減する』の2点を進めていく必要がある」と合わせて、今後の組織の在り方を検討していきます。

10月中に臨時総会を書面・WEB上で開催して、大規模な規約改正を行い、11月には加入、非加入の確認をしていきますので引き続きよろしくお願いします。

来年度、PTAに加入しようと思っていますか？

130 件の回答



・「決めていない」が46.4%、58人と最も多い。うち、加入しない場合の影響(「PTA 会費の使いみちに関与できなくなる」「藤小校区まつりの廃止をはじめ、卒業式や入学式の記念品廃止など」)を考慮した場合に「加入」を再選択した人は26人、影響を考慮しても「分からない」の人は31人。

・「加入しようと思っている」は38人。

・「加入しないでおこうと思っている」は29人で、上記の「影響」を考慮した上で「加入」を再選択した人は、7人となった。影響を考慮した上でも「加入しない」のままの人は18人いました。

加入を考える理由で一番近いものはどれですか？

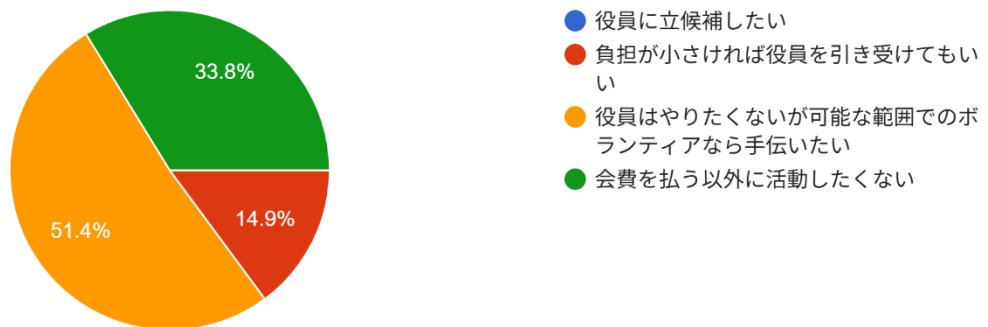
74 件の回答



・前問の結果として、再選択を合わせて「加入を考えている」家庭は74人となり、理由では「子どもたちのために必要な活動のため」が圧倒的に多く4分の3近くを占めた。次に「特に理由はない」16.2%が続く。

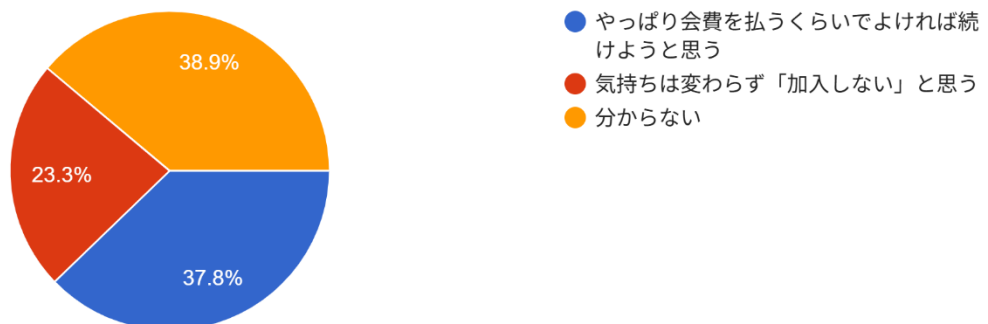
・「子どもたちのために必要な活動」とは何をイメージしているのか。アンケート第一弾の質問項目の「PTAに期待すること」として、「子どもの安全安心の確保(54.7%)」「子どもの楽しみイベント(45.3%)」「何を期待していいのかわからない(29.1%)」があるほか、同じく「有意義に感じている活動」として、「藤小校区まつり(60.5%)」「記念品配布(31.4%)」「付き添い登校アンケート(23.3%)」があります。

加入者の中から役員を募り、活動していくことにな...関わり度合についての希望をお聞かせください。
74 件の回答



・「役員に立候補したい」は0%！！
・ただし「負担が小さければ役員を引き受けてもいい」は14.9%、11 人存在する。
・また、可能な範囲で「手伝いたい」が半数以上、51.4%いる。
→負担を小さくして、役員の担い手を確保すること、また、「役員」「委員」などの役職ではなくて、できる範囲で手伝える人を募る活動ができるかが今後の活動のポイントとなります。

考えは変わりますか？
90 件の回答



・「加入しないでおこうと思っている」「決めていない」を選択した人に対し、PTA 加入をしなかった場合の影響を示したで考えが変わるかを聞いた結果。あえて、「やっぱり会費を払うくらいでよければ続けようと思う」という選択しやすい選択肢を設けました。「そんな方法があるの？」と混乱を一部招いたようです。そんな方法もできるのかを決めていくのはこれからです。
・「加入しない」という意思の変わらない人は23.3%、21 人いました。当然そういった方もいると思いますが、気になるのは「分からない」が 37.8%、34人です。PTA の実態、あるいは今後どうなるのか分からないので判断ができないということだと思われます。せめて、判断材料として、実態と未来像についてはお示しできるようにしたいと考えています。